



日本聖公会  
大阪教区総務局  
〒545-0053  
大阪市阿倍野区  
松崎町2-1-8  
TEL 06-6621-2179  
FAX 06-6621-3097  
発行責任者  
総務局長 司祭 内田 望

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 [office.osaka@nsk.org](mailto:office.osaka@nsk.org)

第470号 2019年12月22日発行

「見よ、おとめが身ごもつて男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は「神は我々と共におられる」という意味である。(マタイによる福音書1:23)

ああイマヌエルよ とく来たりたまえ  
み民はさすらい とらわれ苦しむ  
イマヌエル来ます み民よ



喜べ (聖歌第65番)

主イエス・キリストのご降誕を心よりお祝い申し上げます。

マタイによる福音書のクリスマス由来事では、神様は救い主誕生の約束を成し遂げていかれますが、関わる人々に戸惑いを引き起こされたと言っています。人は戸惑いの中で目覚める者なのでしょう。

うか。

神様の救いの出来事は、神様の目に見えない不思議な働き(聖霊の働き)を、戸惑いながら受け入れた少女マリアを通して、成し遂げられていきます。マリアの夫となるヨセフは、さらに大きな戸惑いの中に放り込まれます。ひそかに縁を切ろうと決心するほどでした。しかし、ヨセフはこの戸惑いの中、神の使いの

ぼくに

よりかかりなよ

主教 アンデレ 磯 晴久



イエスという名の意味は「神は救う」という意味で、その救いは、後日明らかになりますが、全人類に及ぶこととなります。また成人したイエスは、すべての人々の友となり、復活してすべての人々と共におられる方になります。この時ヨセフはそこまででは知りませんでした。神様がマリアの子を通して、何か大切なことをなさろうとしていると知

働きかけによって、神の「お心」を知り、マリアとイエスを受け入れ、守る決断をしていきます。まず、神の使いは、マリアに宿った子に「イエス」と名付けなさい。この子は自分の民を罪から救う」とヨセフに伝えます。さらに神の使いは、この子は「インマヌエル」と呼ばれる、それは「神は我々と共におられる」という意味であることも告げます。

り、マリアとイエスを受け入れていきます。

皆さまは「lean on me」という曲をご存知ですか。意味は「僕によりかかりなよ」。1972年ウィザーズ・ビルという方が作った曲で、多くの歌手がカバーし、今も歌われ続けている曲です。詞の一部をご紹介します。

生きていれば だれでも痛みを感じることもある  
だれでも悲しみを感ずることがある  
だけだ賢いやつは知っている  
必ず明日があることを

ぼくによりかかりなよ 心が弱っているならば  
そしてぼくはきみの友だちになるよ  
きみが前に進めるように助けるよ  
今にきつとぼくだって 必要になるからさ

よりかかせてくれるだけか(註※)

この曲は「グリー」という海外ドラマの挿入歌でも使われ、YouTubeでも聴くことができます。この歌が40年以上歌い継がれているのは、人は互いに寄りかかり合う関係が必要としているからだと思います。人は一人で生きていけないような顔をしますが、内実はそうではなくて、弱さやもろさをもった存在です。「助けて」というのも勇気がいられますが、「助けて」と言われ

(次頁4段目に続く)

「わたしたちの手の働きをどうか確かなものにしてください」(詩編90・17)

### 日本聖公会大阪教区第123(定期)教区会 開会演説

主教 アンデレ 磯 晴久

大阪教区第123(定期)

教区会開催にあたり、祝日・土曜日というご多用な中、お集まりくださいました聖職議員、信徒代議員、教区役員、陪席くださる方々、この教区会のためにご奉仕くださいま

す書記局・教区事務所の皆様、また食事やお茶のお世話にあたって下さる婦人の皆様、殊に川口基督教会の皆様、深く感謝を申し上げます。

今教区会では、様々なことが報告され、協議されますが、私たちの主イエス・キリストが真中にお立ち下さり、私たちに知恵と深慮の霊をお与え下さいますようにお祈り致します。そして、この教区会を通して、大阪教区の教会間の絆が強められ、宣教・伝道への希望が与えられますように、お祈りします。

ご報告ですが、11月3日(日)・4日(月・休)中部教区が主教授選挙を行い、西原廉太司祭が推薦され、1回目の

投票で選出されました。先日受諾されたとの報告を受けております。神さまの祝福が西原廉太被選主教と中部教区の上に、豊かにありますようにお祈りください。

#### 1、人事について

4月1日付けで小林聡司祭が、京都教区から転籍して来られ、すでに教区・教会・施設でのお働きをして頂いています。改めて心から歓迎を申し上げます。

去る10月5日には、金山将司執事が司祭に、ヒュームユーワン聖職候補生が執事に按手されました。これまで二人のために篤いお祈りをささげて下さった皆様に、感謝致します。今後ともお祈りとご支援をお願い致します。

定年退職された後も、囑託司祭として、複数の教会を掛け持ちでお働き下さっている齊藤壹司祭、岩城聰司祭、奥康功司祭、木村幸夫司祭、竹

内信義司祭、山野上素充司祭、山本眞司祭、竹林徑一司祭に、深く感謝致します。

現在、大阪教区の現役教役者は主教1名、司祭15名(2名は出向中)、執事1名となっています。そして協力いた

だっている退職聖職8名で22の教会と関連施設12か所での宣教・牧会を担っています。何とかやり繰りしているというのが現状です。大阪教区は他教区に比べて、面積として一番小さな教区ですが、こ

こ数年教役者には過重な負担がかかっています。教役者の心身に大きな負担を与えているのではと心配しています。教役者が心身ともに休息をとることができるよう、各教会でご配慮ください。

更に憂慮していますのは、このような状況が、現役教役者の減少により、さらに進んでいくと言うことです。対策といたしましては、大阪教区

(前頁より続く)

た方も覚悟がいらいます。しかし、「寄りかかり合う」関係性の中で生きるとき、お互いに生きる力が湧いてくるのではないのでしょうか。

イエスは成長し、インマヌエルを体現して生きていかれます。そして私たちに今も語

りかけてくださっています。「ぼくによりかかりなよ」

(いそ はるひさ・大阪教区 主教)

註※榎本てる子著「愛し、愛される中で―出会いを生きる神学―」日本キリスト教団出版局、2019年、70頁、71頁より引用。

を生かして、①教会間の協働・合同、②教役者間のチームミニストリーの構築が挙げられます。今日昼食後に報告がありますが、豊中3教会のように、是非お近くの教会との話し合いを進めてください。教役者会などでも話し合いも進めて行きたいと考えていますし、教役者からも声が上がっています。

毎年お願いしていることで

すが、聖職の養成、聖職への献身者の発掘に、皆様の篤いお祈りと、この人とはという方がおられましたら、声かけとお薦めをよろしくお願い致します。(聖公会神学院からのニュースでは、来年度の入学希望者が現在のところ一人も

いないとのこと。2020年度新たに始まる「信徒の奉仕・召命コース」には一人の応募者があるとのこと。もし、来年度の本科の入学生がなければ、在学学生は3年生1人となり、はたして1人のために神学院を開くべきかを考えなくてはならない状況だという報告がありました。)

#### 2、宣教・伝道・牧会について

教区の諸委員会は、それぞれに会合を重ね、ビジョンを語り合い、その具体化を目指して、活動を展開しています。この後の報告に共に耳を傾けたいと思います。

特に、大阪教区墓地設置に

つきまして、皆様のご理解とご支援・お祈りに感謝致します。それぞれの委員会活動の継続性や中身についての評価等、忌憚のないご意見をどうぞ寄せてください。

教区は宣教・総務・財務各局長からなる3局長体制となり3年が過ぎました。夢や希望のあるビジョンやミッション・ステートメントを出したいと願っていますが、目の前に追われて、実現できておりません。2020年には、2023年の教区成立100年を目指して、中期的なビジョンが提示できるようにと考えています。

また、2022年には2012年宣教協議会で決定された、「10年後に10年間の宣教の実りを持ち寄って宣教協議会を開くこと」になっていきます。大阪教区でも宣教局を中心に、教区の歩みを振り返り、未来を展望することが求められています。

今年6月に日本聖公会主催「原発のない世界を求める国際協議会」が、仙台で開催されました。この協議会で採択された声明を受けて、管区の

正義と平和委員会より、11月に開催される各教区会で、節電と省エネの意識を強め、脱原発と自然エネルギーへの転換を目指すために、教区会の議案とし、賛同を求めてほしい旨依頼が届いておりました。私の常置委員会への提案が遅れ、手続きができませんでした。来年3月の臨時教区会で議案とさせて頂きます。ご容赦ください。と共に、大変重要な課題ですので、是非各教会でも学びの時をお持ちくださるよう、よろしくお願い致します。また教区におきましても研修会を準備したいと考えています。

10月には、「心豊かな共同体をつくるー人間の光と闇、そして3つの力(人間力・社会力・対話力)」というテーマで大阪・京都教区合同のハラスメント防止研修会が開催されました。講師から、人間の側には暴力的な闇があるが、それは自尊感情が低くなっているからで、自尊感情を高めて、「私もOK、あなたもOK」となることが重要であることが話されました。世

界の聖公会でも「セーフ・チャーチ」ということが大切にされています。信徒・求道者・聖職者が安心して、信仰生活を送って行ける教会になっていくということです。私たちも「セーフ・チャーチ」を目指して歩みましょう。特に暴力的、排他的(誰かを排除するようなことば)、誹謗中傷することは使わないように気を付けたいものです。

南大阪ブロックでは、宣教を活性化させるため、南大阪教役者会を始めます。そこに京都教区岸和田復活教会石垣進司祭と橋本基督教会池本則子司祭にも加わって頂くことになりました。信徒間の話し合いも始まるとのこと。

台湾聖公会との姉妹教区関係は、今年度をもって終了致します。15年に及ぶ交流感謝します。特に、台湾聖公会の示してくださった友情、信愛の情、兄弟愛、親切(もてなす心)に感謝します。2020年2月22日の台湾聖公会主催接手式・就任式に向け、訪問団結成を予定しておりますが、その折、台湾聖公会と今後の協働について相談したい

と考えています。今、大阪教区は、ここ数年、信徒の減少と高齢化、聖職の不足、教会建物の老朽化、財政の逼迫という多くの課題に直面しています。今までも、これらの諸課題に取り組んできましたが、抜本的で効果のある対策を練ることはできていません。2012年の宣教協議会では、「ていねいな教会」ということが言われました。宣教・伝道・牧会の基本的な要素は、わたしたち一人一人の信仰にあります。何もないのでなくて、神様がおられ、私たちがいるのです。私たちがどのような信仰生活を送り、聖書を読み、養われ、お祈りをし、主日礼拝を大事に守り、神さまと人々に仕える生活ができていくかが重要なことです。伝道も「ひとりごとりを」が基本です。

教会間の助け合い・励まし合い・支え合いも大事でしょう。私たちにできることは、そう大きくありませんから、地域の他教派の教会や教会外のグループとの協働も模索する必要があります。一教会に一教役者の時代は

終わったと考えています。大阪教区の教役者は皆、私たちの教役者とお考え下さい。大阪教区内の講壇交換を盛んにし、聖職と信徒が、顔と顔を合わせて、もっと親しくする必要ががあります。

今大阪教区には50人の信徒奉事者がいます。他の教区にはないことです。信徒の皆さんの活躍の場がもっと増えることが期待されています。一年発起して頂いて、聖公会神学院の信徒の奉仕・召命コースやウイリアムス神学館の伝道師コースにチャレンジして、スキルアップを図って頂いたらと願っております。

### 3 京都教区との協働と合併について

2019年は宣教局関係の諸委員会の間で引き続き、よき協働が進んでいます。聖職養成委員会や聖職試験委員会も協働関係を発展させています。

さらに、特別協働教区の大坂教区と京都教区との間に、教区報の一本化について進展がありました。両教区報はそ

(次頁に続く)

(前頁より続く)

れぞれに長い歴史を持っていきますので、一本化のためにはお互いに歩み寄り、変わっていかねければならないので簡単なことではないのですが、両教区の担当者が粘り強く話し合ってくださり、来年1月から大阪教区でも京都教区の毎月発行に合わせ、その一年後に一本化するとの予定で進み始めました。

磯主教は京都教区の高地敬主教とは教区合併について先日意見交換をし、特別協働教区運営委員会を中心に教区合併に向けて一層各部署に働きかけ、また、財政面等の具体的な検討を始めることを確認しました。また、「多様性が生みだす豊かな宣教と教会」との標語のもと、合併という困難な過渡的時期の向こうに、宣教や牧会を新たな思いを持って果たしていく教会の姿を見据えていきたいと話合いました。どうか皆様も礼拝や研修会、一日人事交流等、互いの交流にできる限りご参加いただきますようお願いいたします。

#### 4、日本聖公会教区再編成について

ご存知のように、北海道から沖縄まで11の教区があります。それぞれに歴史があり、伝統もあります。日本聖公会は世界の聖公会の中で、教会や信徒数からすると最も小さな管区の一つです。日本に11も教区が必要かどうかは、繰り返し管区総会で議論されてきましたが、具体的な動きは、大阪教区と京都教区の合併への取り組みが初めてです。

ここ数年、どの教区も聖職者の数が減少に、中には一桁になっていく教区もあります。さらに、ここ数年毎年のように主教選挙が行われます。主教が選べるだろうか。選んでいいのだろうか。その他、宣教・牧会にも様々な困難や支障が予想されます。主教会としては、10年後を考えると、11教区体制では日本聖公会を維持し難いという危機感をもっております。教区再編は、大阪教区と京都教区のことを考えましても、決して簡単なことではないのですが、早急に進めるべき重大な課題であると考えます。

私たちの愛する大阪教区。皆様の愛する教会が、大きな転換点に来ていることは確かです。

皆様には、教区・教会がどう生き延びていくが、そのための方策に映るかもしれませんが、私としては、このことを通して、良き化学反応・ケミストリーが起こることを願っています。皆様の篤いお祈りをよろしく願います。

#### 5、終わりに

平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。(マタイ5:9)

私たちの世界・社会は、今どこへ向かおうとしているのでしょうか。平和の道でしょうか。争いや対立の道でしょうか。たとえば、教育の現場では、小学校・中学校では週1コマ「道徳」の授業が、高校では「公共」の授業が公立でも私学でも行われようとしています。キリスト教学校ですと、聖書や宗教の授業で置き替えができていたのですが、これからは担当するよくな動きもあります。直ぐに

戦前への回帰はないと思いますが、戦争への道は決して歩んではならないと思います。その他にも、天皇の代替わり、日の丸・君が代問題、在日外国人との共生問題など多くの課題があります。

また日本政府と韓国政府の関係は最悪だと言われています。今大切なのは対話です。対話するためには、パウロが言っているように、「何事も利己心や虚栄心からするのでなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、めいめい自分のことだけにでなく、他人のことにも注意を払いなさい。」とあるように、相手に対する尊敬や敬意がないと対話できません。これはまた日本国憲法の前文を思い出させます。「われらは、いずれの国家も自国のことのみで専念して他国を無視してはならない。」「他人のことにも注意を払いなさい」、これは人と人の間だけでなく、国と国との間でも大切なことです。

わたしたちは、いかなる時も対話を大事に歩んで行きたいと思えます。

私は、よく歴史を学び、今を見つめ、何が起ころうとしているかを学び、みんなの手を携えて、壁を乗り越えて、平和な未来を実現したいと願っています。

皆さまは「202230」という標語をご存知でしょうか。2022年までに意思決定機関に参画する女性の割合を30パーセントにという標語であります。今教区会では、常置委員と総会代議員の選挙があります。こうした標語も念頭において、投票をよろしく願います。

最後に、私に対する皆様のお祈りとお支えを感謝します。これからの一年、聖職・信徒の皆様の上に、主イエス・キリストの導きとお守りが豊かにありますようにお祈り致します。

わたしたちの手の働きをどうか確かなものにしてください。共にお祈りください。

日本聖公会大阪教区第123(定期)教区会報告

11月23日(土・祝)、午前9時から主教座聖堂で開会聖餐式が行われ、代禱でこの一年間に逝去された信徒代議員(アン・デレ中芝永次兄、アン・デレ本井雄次兄、アブラハム西尾裕兄)を憶えてお祈りが献げられました。信施金(52,400円)は、「守口ぶどうのいえ」の働きのために献げられました。その後、会館3階に移り、教役者議員16名中14人、信徒代議員35名中35人の出席で諸報告が行われ、すべて承認されました。昼食後、守口ぶどうのいえの報告が松平功司祭から、豊中三教会合併に向けての報告が石橋聖トマス教会の牧口望さんから、そして、大阪教区墓地の آپールが義平雅夫司祭から行われました。午後2時過ぎから議案の審議が行われ、「2020年の大阪教区一般会計予算(案)」、「大阪教区施行規則」改正の件、「日本聖公会大阪教区」規則改正の件」が決議されました。「大阪教区給与規則」改正の件

と「大阪教区墓地管理規則改正の件」は、文言に不備があったため、3月の臨時教区会で再度審議されることになりました。「桃山教育大学の式典等で『日の丸掲揚』、『君が代斉唱』を行わないよう求める要望書を同大学に送付する件」は、議論が続く中、修正動議が出され、第123(定期)教区会として提出するのではなく、社会宣教委員会、在日韓国・朝鮮人宣教協働委員会から提出することになり、賛成多数で決まりました。その後、常置委員会と総会代議員の選挙、会計検査委員の使命が行われ、午後6時に閉会となりました。

選出された常置委員。聖職は、義平雅夫司祭、千松清美司祭、柳時京司祭、次点は松平功司祭。信徒は、鈴木光子さん(尼崎聖ステパノ教会)、太田幸彦さん(聖ルシヤ教会)、井上恵美子さん(高槻聖マリヤ教会)、次点は辻彩乃さん(川口基督教会)。選出された総会代議員、聖職は、千松清



創立130周年記念礼拝を終えて

社会福祉法人 聖ヨハネ学園 理事長 サムエル 野知 卓司

美司祭、柳時京司祭、次点は、松平功司祭、韓相敦司祭。信徒は、太田幸彦さん、鈴木光子さん、次点は、井上恵美子

さん、辻潤さん(芦屋聖マルコ教会)。会計検査委員は、春名英夫さん(恵我之荘聖マタイ教会)と山本多津子さん(芦屋聖マルコ教会)。大阪教区第123(定期)教区会 書記局

さる11月16日(土)秋らしい晴天の午後には大阪聖ヨハネ教会において、聖ヨハネ学園の創立130周年記念礼拝を感謝のうちに終えることができました。司式を磯主教に、補式を林司祭と韓司祭に、説教を竹内司祭に、奏楽を聖ヨハネ教会信徒の東直子姉にお願いし、大阪教区の聖職者並びに各教会の信徒・学園関係者合わせて80人弱のご臨席のもと、厳肅な中にも心温まる感謝に満ちた礼拝でした。

1889年にアメリカから来られたリーラ・ブル女史と前年に発足したばかりの大阪聖ヨハネ教会の婦人信徒たちで2人の女兒を引き取り養育する貧院を開始したのが始まりとされており、その時から種が大きく育って130年後の現在、この法人をご利用さ

れる人、ここで働く人、ここを支えてくださる人を合わせますと千人以上の規模となっております。多くの先人たちが社会福祉に情熱を傾け、多くの困難を信仰と信念と実行力で乗り越えてきました。それが地域の人たちや行政に認められ信頼されて、次々と新しい働きを与えられ事業として育って、障がい者を含めて幼児から高齢者までの社会福祉事業を行う現在の姿となっております。

先人たちがその時々々に次の夢と目標を持って努力し叶えていったように、現在に生きる私たちもこの節目の年にある歴史へ踏み出していく基盤となるよう「将来整備計画の基本構想」を作り上げようとしています。今後ともこの聖ヨハネ学園を見守っていただき、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

(のち たくじ・大阪聖ヨハネ教会信徒)

# 教区婦人会秋の修養会

ミリアム 樋口久美子

去る10月18日(金) 尼崎ス

テパノ教会で「婦人会秋の修養会」がありました。

木村司祭様の司式で、出席者133人(内 教役者5人、男性3人)。有意義なひと時を持つことができました。

講師は片柳弘史神父様(イエズス会司祭カトリック宇宙教会主任)。お話の内容は「世界で一番大切なあなたへ」マザーテレサに学ぶ神様の愛」というものでした。

インドまでマザーテレサに会いに行かれ、そして一緒に過ごし、直にマザーテレサの愛にふれ、導かれ、神父の道に進まれました。

マザーテレサが語られた愛の言葉もたくさん聞かせていただきましたが、とてもここに書ききれぬものはありません。

「マザーにあった人は、生きる力を頂けた、自分が誰よりも一番 マザーに愛されているとさえ思える気持ちにな

った」。

なぜだろうと、マザーの言葉ではない行動に気が付かれました。

○満面の笑み

○目が輝いている、相手を見つめる(相手の中のイエス

を見て)

○いまはこの人にだけ、この人が一番大事

○相手との距離が近い

神父様は情熱的に解りやすく話され、聴衆者の心に深く入って マザーテレサの愛に触れさせてくださいました。あつという間に時間が過ぎました。

そして神父様から、可愛い似顔絵の書かれたクリアファイルを全員に頂戴いたしました。嬉しく思い出に残る一品になりました。

修養会の後は会館で用意していたいただいたお茶とお菓子で、団らんのひとつを持つことができました。

当日の席上献金140,9

06円は熊本YMCA(震災復興活動のため)に送金しました。

また、台風19号の被害者へ

の義援金は36,850円でした。

尚、この日のために準備ご奉仕くださいました尼崎聖ス

テパノ教会の皆様深く感謝いたします。  
(ひぐち くみこ・芦屋聖マ  
ルコ教会信徒)

## 大阪・京都特別協働教区運営委員会より



### ひとりよりもふたりが良い

司祭 ウイルソン ウォーレン

「何でやねん」と思いました。正直、京都、大阪教区が合併を考えていると聞いた時の第一印象でした。私は司祭としての出身地である京都を愛し、大阪教区もホンマにスツキヤネン。ですから、京都も大阪も大切に、どちらの独特な味もなくならないようにと願っています。

とは言いながら、大阪・京都を含めて日本聖公会の始どの教区の現状も差し迫ってきていますので、何とかしないといけない時が来ているのは明らかで

す。しかし、「何を」と言うより、「どの根拠の上で」計画を立て、アクションに移るかが大事だと思います。

この記事の1回目に高地主教は「私たちの協働が神様のお導きのもとに「合併」へと進み、宣教が活性化されますように。」と書かれました。

私にとって、これが「合併」や「統合」の大前提です。英語のことわざなんです。「タ イタニック号のデッキチェアの再配置」と言う言葉があります。要するに本当の問題に対処せず、今まで通りの事だけをするのは解決には無益な作業だと言うことです。そのような「合併」でしたら、私たちの苦しみを長引かせるだけなんです。しかし、神さまを信じて新たな伝道・宣教をやり出す心を持つなら、合併による新しいエネルギーと力を生み出すことが出来るだろうと思

います。

既に大阪・京都特別協働教区として多くの実を結んできました。そしてよく祈り、よく見つめると一つの教区になった方が神さまから与っている時、賜物、宝を効率のよい伝道・宣教に回すことが出来るでしょう。

コヘレトの言葉4:09、「ひとりよりもふたりが良い。共に労苦すれば、その報いは良い。」と記されていますように、本格的に労苦し、共に歩むことが出来ますように

私たちの協働が神様のお導きのもとに神さまのみ恵によって「合併」へと進み、活性化されますように。

なお、10月発行の協働ニュース、1面一段目の最終行「大阪教区では二〇一九年より…」は「二〇一八年より」の間違いです。お詫びして訂正いたします。

《OK委員会》

4月に川口基督教会の牧師に赴任して約9か月が経ちました。聖公会という同じ教派ではありませんが、やはり新任地での毎日初めてのことが多く、緊張の連続です。

牧師としての仕事の内容は、赴任先が変わってもさほどの差はないかも知れません。しかし、信徒の名前や教名、家族関係の繋がりを、信徒同士の繋がりなどから教会の歴史や諸事情を全体的に把握するには、まだまだでしょう。いまだに「初めまして」と挨拶を交わされるケースも多々あります。

それにもう一つの峠は「関西弁」です。立教大学に勤務した10年間で習った日本語は、いわゆる標準語です。そのため、関西の独特なニュアンスを帯びた言葉をつかむには結構時間がかかりそうです。それは言葉の理解という面だけではなく、

いわば教会の中の空気を読めるかの問題です。牧師として

聖職リレーエッセー ⑫



神の息吹に吹かれて

司祭 ステパノ 柳時京

信徒の中で流れている空気を読めないというのは、ある意

味致命的です。まずは素直にその空気を吸うように努めています。もうすこしそこに含まれている様々な声をも聞き取りたいのです。

川口基督教会は、毎週木曜日に聖書の会と昼の祈りで集います。今年の後期は旧約聖書のエレミヤ書を学んでいます。数千年前のイスラエルの民に送られ、逆境の中で神様のみ旨を伝えた預言者の働きについて勉強しながら、改めて気づかされたことがあります。

それは、教会・信徒の空気を読むのも重要ですが、牧師の第一の仕事は神様のみ言葉を通して、今の時代や人々に伝えるべきことは何かを読み取ることです。そして、信徒とともに、巷の空気よりも神様の息吹を読み解くように努めることです。

(ゆ しぎよん・川口基督教会牧師)

世界の窓

◎カンタベリー大主教と教皇は共同訪問を計画

11月13日、カンタベリー大主教ジャスティン・ウェルビー(Justin Welby)と教皇フランシスコ

(Jorge Mario Bergoglio)は来年に南スーダン

を共同訪問する計画であることを発表しました。もし、その計画が実現するならば、共同訪問は初めてとなります。

カンタベリー大主教はバチカンのサン・マルタ館(Domus Sanctae Marthae)で新ローマのアングリカン・センター長イアン・アーネスト大主教(Tan Ernest)を正式に紹介させるため教皇フランシスコと内謁をしました。その時に、大主教と教皇は世界中のクリスチャンの状態と国際的危機について話をし、特に、南スーダンの国民が直面している辛い現実

に焦点を当て、結果として、大主教と教皇は、もし100日以内、つまり最近ウガンダに署名した協定が満期になる時に南スーダン内の政治状況によって暫定統一政府を築くことができれば、二人は一緒に南スーダンを訪問

するということになりました。「私たちのイエス様の教えに對する献身のために私たちは南スーダン内の紛争について持続的な解決策を求めます。また、私たちは宗教指導者たち及び政治指導者たちが平和のため努めるよう再び呼び掛けます」とカンタベリー大主教は言いました。

南スーダン聖公会の首座主教ジャスティン・バディ・アラマ(Justin Badi Arama)大主教はカンタベリー大主教と教皇が南スーダン聖公会及び南スーダンの国民に對する継続的な関心と祈りに對して感謝しています。また、アラマ大主教は南スーダンへの共同訪問の計画を歓迎し、彼らと共に南スーダンの永続的な平和のために祈ります。

(Anglican Communion News Service, 14th November, 2019)

邦訳・ヒューム ユーワン 執筆

(堺聖テモテ教会牧師補、プ

ール学院中学校・高等学校・短期大学チャプレン補、桃

山学院教育大学チャプレン補)

# 難民を知り、理解し、支援しよう！

セバスタチャン 岡本 正

私たちは、「難民」とはどのような人を指すのかほとんど知らないし、知る機会も稀である。例えば隣に「難民」が住んでいても、変な外人がいるというくらいの意識しかないだろう。いきなり、「難民を支援して下さい」と言われても戸惑うだけだ。何事も、知って、理解しなければ対応はできない。支援することまでは中々及ばないことである。

現状の日本における「難民」を正しく理解し、支援するのは人として当然取るべき行動である。クリスマスならなおさらのことだ。来年は日本でオリンピック・パラリンピ

ック大会が開催され、訪日観光客は年々驚異的に増加している。大多数の一時の物見遊山の外国人の陰で、日本の在留資格が得られず大変に困難な生活を余儀なくされている人達がいる。それが「難民」と称される、出入国在留管理庁の収容所に否応なく収容されている、ビザの受けられない「非正規滞在者」のことである。

先般、大阪聖パウロ教会が主催し「難民のことを知る会」(第一回)を開催した。大阪で難民支援活動が続けている市民団体、RAFIQ(在日難民との共生ネットワーク)の田中恵子代表に「難民」の解説を受け、初歩の学びの時を持った(11月16日・土)。テーマの特殊性やPR不足もあり、参加は十数名であったが、熱心な学びの眼差しがあり声があった。

多数の羊の中の一匹が



迷子になった。その時あなたは どうしますか？ 諸々の事情により祖国を追われ命からがら異国に逃げ延びた、そこが一時でも安住の地であれば

## 韓国の旅

### 三・一独立運動100周年・

### 信仰の交わりから学ぶ

田中 廉

礪晴久主教を団長とし、ウイelson ウォーレン司祭、竹内信義司祭、石垣進司祭、呉光現氏(生野センター総主事)、信徒4人の計9人が韓国を訪問し、日韓の歴史を学

ぶとともに、韓国聖公会との交わりの時を持ちました。11月8日(金)に出発し11日(月)に帰国しました。西大門刑務所博物館、江華島の大韓聖公会最古の教会、南北分断の現場、植民地博物館、李朝鮮宮殿等を見学・学習し、10日(日)には大韓聖公会大聖堂でのミサに参列し、聖餐に与りました。礪主教は挨拶で日韓両教会及び両国の交流、友好の大切さについて話をされました。江華島の教会は文化財に指定されている建物で一

……。  
日本でも、たくさん「難民」が保護を求めている。しかし、この国の「難民」への対応は実に理不尽である。先

ず知ろう、理解しよう、支援しよう。  
(おかもと ただし・大阪聖パウロ教会信徒)

## 『聖書とパレスチナ問題』講演

一般の見学者も大勢いましたが、司祭が丁寧な教会の歴史につ

11月25日(月)午後6時30分より大阪キリスト教連合会・研修会2019『聖書とパレスチナ問題』を大阪聖ヨハネ教会で開催しました。

講師にはペテロ岩城聰司祭を迎えました。キリスト者は『イスラエル国』を支持しなければいけないか？ 武力ではなく愛と祈りによる紛争解決を提唱する『サビール』(道・公共性)の活動と解放の神学について学びました。出席者は50人、他教派の牧師・信徒の方も多数来会されました。尚、テキストである『サビールの祈り』(岩城聰司教文館)も緊急増刷され、大阪キリスト教書店が出張販売しました。



多数の羊の中の一匹が

# 教区の動き

## 常置委員会報告

10月10日(第13回定例)  
11月14日(第14回定例)

### I. 主教報告 及び諸報告

\*大阪南部地区の宣教を考える会として、大阪教区・京都教区の近隣教役者会を開催する。京都教区からは石垣進司祭、池本則子司祭が出席予定。堺聖テモテ教会、聖ルシヤ教会の教会委員同士の交流も深める予定。  
\*教区婦人会主催来年の被献日礼拝は2月2日(日)であり、各教会での主日礼拝における献金を「被献日献金のため」とすることになった。この献金は日本聖公会婦人会に集約され、神学生、教役者、信徒有志グループの学びのために用いられる。  
\*宣教局台湾交流委員会は本年をもって解散、姉妹教区の関係を終える。改めて台湾聖

### II. 協議事項

公会の新しい主教と意見交換を行い検討する。  
\*中部教区主教選挙の結果、西原廉太司祭が選出され、同師が受諾された。  
\*主教の諮問により、来春の教役者人事について協議。  
\*定期教区会に常置委員会が上程する議案について確認。  
\*京都YWCAより小林聡司祭に、来年1月26日(日)に名古屋で開催される会合に講演依頼があることを了承、当日の聖贖主教会の司式・説教は竹林徑一司祭にお願いすることを確認。  
\*管区より台風19号・豪雨被害への援助として、[ACT]apanフォーラム」が行う千葉県館山市の災害支援に協力献金の要請があり、「災害緊急支援資金」より30万円を拠出を決定。  
\*管区「正義と平和委員会」より、「日本聖公会『原発の

### 教会・施設の動き

ない世界を求める国際協議会」声明に賛同する件」を教区会で議決してほしい旨要請があり、来春の臨時教区会に上程することを確認。  
\*10月23日(水)に行った京都教区常置委員各氏との懇談会で、大阪京都特別協働教区の関係の在り方について意見交換した内容を確認。(以上)

#### 川口基督教会

○川口基督教会は2020年に宣教開始・創立150周年を迎えます。来年11月3日(火・祝)にナタナエル植松誠主教を説教者にお招きして記念感謝礼拝を献げる予定です。丁度一年前を控えて、先月10月末には足跡年表パネルを受付に設置し、11月4日から365日カウントダウンボードを掲示し始めました。

#### 大阪聖ヨハネ教会

○11月10日(日)晴天に恵まれ、恒例の教会バザー(ヨハネまつり)を開催しました。聖ヨハネ学園から学園生、同OB、職員の方々も来会、主

日聖餐式でスタート。地域の方々がチャペルコンサートに出演、子どもの保護者もキッズ・コーナーに出店、世代を超えて多数来会され楽しい交わりのときを持ちました。バザー収益は社福・聖ヨハネ学園、学法・アジア学院、管区の災害緊急プロジェクト、当教会の奉仕活動等にお捧げします。夕の感謝礼拝で一日を静かに終えました。神と皆様へ感謝。

#### 尼崎聖ステパノ教会

○11月3日(日)午後2時から川西中央霊園で納骨式・墓参の祈りが行われ、約60人が出席しました。

#### 博愛社

○博愛社には、社会福祉法人博愛社と学校法人博愛社学園の2つの法人がりましたが、「幼保連携型認定こども園」開設に伴って学校法人を解散し、2019年10月1日より、社会福祉法人「博愛社こども園」として出発いたしました。

桃山教育大学・プール学院短期大学

○桃山学院教育大学およびプール学院短期大学では、12月18日(水)の午前中に合同クリスマス礼拝を執り行いました。同じキャンパスを共有する聖公会の大学同士が共に主イエス・キリストのご降誕をお祝いすることは素晴らしいことです。礼拝ではお香を焚き主教による聖餐式を行うなど、伝統的かつ荘厳な全学会となりました。

#### 大阪教区英語礼拝

○9月22日(日)に、七ヶ月超えたばかりの可愛いニルセン・ミリアムちゃんが母側の祖父母と英語会衆の皆さんに囲まれて神の家族に加えられました。(ご両親はニルセン・ダニエル(Daniel Nilsen)とニルセン 明子(Aiko Nilsen) 教父母はご両親と司祭ウイリソンウォーレン) 英語礼拝の創立者のフランシス・L・ポーランド宣教師に連絡し、今回の受洗は英語礼拝の中の初洗礼式と確認をし、ポーランド先生からの暖かいお祝いの言葉とお祈りを頂きました。  
ハレルヤ! 神に感謝!

教区関係教役者  
逝去者記念聖餐式

◇1月8日(水) 10:30~

於:主教座聖堂(川口基督教会)

- 説教者 司祭 ヤコブ 義平 雅夫
1日 宣教師 ヘンリー・ラニング (1917 米)
司祭 デイビッド・マーシャル・ラング (1946 英)
司祭 ウイリアム・ロイストン・グレイ (1950 英)
3日 主教 ウイリアム・オードリー (1910 英)
司祭 河合 堯三 (1939)
8日 司祭 テモテ 名出 望 (2015)
12日 司祭 ヨセフ 側垣 基雄 (1965)
司祭 ギデオン 小川 博司 (2002)
13日 伝道師 三木 八十五郎 (1918)
15日 司祭 パーシー・A・スミス (1960 米)
司祭 寺本 房吉 (1960)
19日 司祭 ペテロ 宇野 秀太郎 (1944)
主教 アーサー・リー (1958 英)
伝道師 今泉 穎子 (1970)
20日 司祭 ヒカル 柳原 光 (1994)
主教 オーガスチン 高野 晃一 (2015)
21日 司祭 久永 光雄 (1937)
22日 主教 ペテロ 松本 寛一 (1980)
25日 執事 卜部 徳太郎 (1933)
26日 司祭 パウロ 井上 進次 (2016)
27日 司祭 サムエル 久保 道則 (2011)
30日 執事 バルナバ 寺沢 久吉 (1945)
不詳 司祭 山下 有任 (1903)

◇2月12日(水) 10:30~

於:主教座聖堂(川口基督教会)

- 説教者 司祭 マルチン 韓 相敦
1日 宣教師 エルザ・M・キーン (1949 英)
3日 司祭 トマス 佐藤 時雄 (1989)
5日 司祭 バークレー・フォーウェル・バクストン (1946 英)
8日 宣教師 フランシス・エドワード・ハモンド (1932 英)
10日 司祭 祖山 達三 (1941)
司祭 皆川 晃雄 (1952)
宣教師 フローレンス・マリアン・ファジル (1956 英)
13日 伝道師 マリア 奥田 ヤス子 (1949)
14日 司祭 J・ハミルトン・クインビー (1882 米)
16日 司祭 ステパノ 久保 登知雄 (1981)
17日 司祭 ジョージ・ヘンリー・ポール 1929 英)
19日 伝道師 小橋 かつえ (1964)
20日 司祭 ヨセフ 松岡 安立 (1972)

教役者逝去記念聖餐式は、原則毎月第2水曜日午前10時30分から、主教座聖堂(川口基督教会)で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

祝受洗



○川口基督教会
サラ 丸山 博子 (10月20日)

祝初陪餐



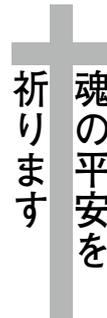
○川口基督教会
サラ 丸山 博子 (10月20日)

祝受按



○守口聖オーガスティン教会
ルーカス 山本 順也 (10月27日)

魂の平安を祈ります



○川口基督教会
マリヤ 下条 潔子 (2月24日・82歳)
花本 時 (11月4日・93歳)

○大阪聖ヨハネ教会
アピヤ 松島登代子 (11月11日・91歳)

○大阪聖愛教会
ポーロ 竹本 耕造 (11月30日・82歳)

○堺聖テモテ教会
マリヤ 松原 晴美 (10月15日・50歳)

イサク 富山 征夫 (12月1日・80歳)

○守口聖オーガスティン教会
アブラハム 西尾 裕 (10月17日・90歳)

○大阪聖アンデレ教会
グレース 三田あや子 (11月26日・87歳)

○西宮聖ペテロ教会
クララ 石川 照子 (10月10日・94歳)



編集後記

主のご降誕をお祝い申し上げます。京都教区報「つのおえ」との協働を進めています。2021年1月からは京都・大阪の教区報を一本化する予定です。2020年は大阪教区報を頁数を減らして毎月発行いたしますが、1月は準備のため休刊いたします。ご了承ください。(JF)

教区報2020年1月休刊